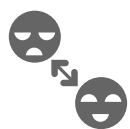


ことわざ実践で
生活向上



反面教師的なことわざ

強く教訓を伝えることわざです。英語・日本語と文化の違いで言い方は多少違っていても、核となる部分は同じです。

悪事千里を走る

Bad news travels fast.

(編集部訳：悪い噂は直ぐに広まる)

編集部
コメント

悪いことをしたら、その噂は一気に世に広く知れ渡ってしまいますが、ここパースだったら速さは半端じゃないかも?! 良い行いを心掛けましょう。

船頭多くして船山に登る

Too many cooks spoil the broth.

(編集部訳：コックが大勢過ぎるとスープを台無しにする)

編集部
コメント

指揮する人が多いために統一が取れず、とんでもない方向に進むということです。たくさんのコックさんがいたら、いろんな味が混ざり合ってしまう、結局美味しい料理はできないということを言っています。

絵に描いた餅

Wine in the bottle does not quench thirst.

(編集部訳：瓶の中のワインでは渴きは癒されない)

編集部
コメント

餅がワインに変わっただけで、なんだかとてもオシャレな言葉になりますが、意味は同じです。描いたからには実現できるよう努力しましょう。

わざわい

口は禍の元

Better the foot slip than the tongue.

(編集部訳：口がすべるくらいなら足がすべるほうがまし)

編集部
コメント

「転んでケガをする方がまし」だなんて! 慎むべきことは口に出さない、というマナーは世界共通ですね。発言は時と場所、場合に合わせましょう。